



わかたけ

No.97

令和5年3月1日発行

- 発行：青少年育成所沢市民会議
- 編集：わかたけ編集委員会
- 事務局：こども未来部 青少年課
☎ 2998-9103

プロフィール
 昨年の4月1日付で所沢市教育委員会教育長の職を拝命しました中島秀行と申します。
 昭和61年から、15年間で所沢の学校でお仕事させていただきましたが、その後、市外の学校をまわって、21年ぶりに所沢に戻ってきました。
 長く所沢を離れていた中で、着任する前は「自分はアウェイだなあ」と少し不安でしたが、考えてみれば所沢は、子供時代にくまなく遊び回った場所です。ずいぶん変わりましたが、細い路地まで知っています。何かの会議で出てきた町名を聞けば、大抵の場所の見当もすぐにつきます。同級生も、教え子も、その保護者も、知り合いもたくさんいます。だれかれ話してみれば懐かしい話題がいくつも出てくるので、心配は杞憂であったことがすぐに分かりました。大層なことではできませんが、少しはふるさとのお役に立てそうな気がします。



マチが子供を育てる

教育長 中島秀行

所沢で育つ

私は、生まれも育ちも所沢です。今の所沢市民医療センターの場所には、かつて国立病院があり、そこで生まれました。父は朝霞、母は所沢の米軍基地で働いていたので、基地の中に入れてもらっては、将校クラブでコーラをご馳走になったり、パーティーに呼ばれて、アメリカ人の子供らと遊んだりしていました。七五三のお祝い写真は、西新井町の熊野神社で、白人と黒人の女の子と3人で撮りました。
 家のおやつは、アメリカ製のやたらに甘くて噛むとグニヤンとするチョコレート、ぼろぼろ崩れるシユガークリームのケーキ、食べると口の中が真っ赤になるキャンディー、なかなか溶けないハーシーのココア。アメリカ(?)という異文化を感じて育ちました。悪さもよくしました。米軍は、小学生のころ引き上げていきましたが、無人の基地に

忍び込んで警備のジープに追いかけられたりしました。墓地や神社の社殿に入って鬼ごっこをしたり、近所の農家からカイコをちょうだいしてきたり、無断で近所の家の池で魚釣りをしたり、そのたびに親や先生に、こっぴどく叱られました。
 学校帰りには、銀座通りの本屋で漫画の立ち読みをし、おもちゃ屋でプラモデルを物色し、高島屋(今はありません)の屋上のゲームセンターにもよく通いました。旧町には映画館があつて、映画を観たあと、銀行の脇にあつた山田うどんで、おやつ代わりにうどんを食べたりしました。

ある時、自分だけお小遣いが足りなくて、「かき揚げのてんぷらだけください」と注文したら、お店のおばさんが気の毒に思つてか、うどんに変えてくれました。さすがに、てんぷらはつきませんでした。以前は、松が丘の西側にモトクロス練習場がありまして、2人の仲間と自転車を走

らせようということになりましたが、そこに入るためには幅2mくらいの用水路を越えなくてはなりません。頑張れば越えられそうにみえる微妙な距離。誰かの「自転車で飛び越えようぜ」という提案に、自分も大いにその気になり、みんなで勢いをつけて一斉にジャンプ。当然ですがあえなく全員落下、自転車は水路の底に沈み、危うく3人も溺れそうになりました。近くにいた大人が助けてくれましたが、あの時は、本当に死ぬかと思いました。



日吉町商店街(昭和30年代) 所沢商工会議所蔵

子供への愛と寛容

遊びの中、マチの中、自然の中、人の中で、ずいぶんたくさんさんのことを学びました。親も先生も地域の大人たちも、今よりずっと厳しかったですが、一方で、子供たちに

は適度な自由とたつぷりの愛情を与えてくれ、そして何より寛容でした。子供たちは、「地域」という手の平の上で遊ばせてもらっていたそんな感じがします。幕末から明治にかけて日本にやってきた多くの外国人たちは、「この国の人たちは、貧しくても誰もが幸せそうで、みなで子供を大切に育てている」と記しています。

かつては、「親はなくとも子は育つ」と言われましたが、隣近所を中心に地域や社会全体で子供を育てるという雰囲気があったように思います。かろうじて私もそんな恩恵に与かりました。所沢というマチには、子供を育てる力がありました。

教育格差解消は重要課題

あれから、半世紀がたった日本の社会では、大人たちの経済格差とともに、子供たちの教育の格差が拡大しています。最近では、親の収入や学歴によって子供の一生が決まるという「ペアレントクラシ」^①という言葉も生まれています。学校では、働き方改革の名のもとに、教員が子供から引き離され、「地域移行」という名の「民間移行」や「市場開放」

が進んでいるようで、さらなる格差の拡大が懸念されます。教育の二極化は社会の二極化につながり、争いの火種を生むことになるでしょう。今は公教育の大きな転換点であり、判断を誤ると大変なことになると、強い危機感をもっています。これも杞憂であってほしいと思いますが、こちらはどうもそうはいかないようです。今一度、地域の教育力をとりもどし、市民総がかりで、子供たちの教育にあたることはできないか、思案しています。すべての子供たちに、未来へ向かって歩む力をつけさせるため、今すぐアクションを起こさなければならぬと強く感じています。

「家庭の日」推進事業 青少年一明日へのメッセージ

所沢市との共催で「家庭の日推進事業」として、毎年、小学3年生から中学3年生までを対象に、家族のこと、将来の夢などをテーマにした作文を募集しています。今年度は、小学生81点、中学生327点の応募があり、令和5年2月4日(土)に新所沢まちづくりセンターで入賞者の表彰と特選作文の朗読を行いました。



表彰式の様子（新所沢まちづくりセンター）

表彰結果は次のとおりです。

【特選】

- 《小学生の部》
- ・魚住 早希（安松小3年）
- ・今井 律花（小手指小6年）
- ・和田仁茅果（北野小6年）
- 《中学生の部》
- ・齊藤 彩乃（所沢中1年）
- ・岩澤 紬（南陵中2年）
- ・上野川怜華（狭山ヶ丘中2年）

【金賞】

- 《小学生の部》
- ・神谷 心咲（東所沢小5年）
- ・鈴木 夢乃（東所沢小5年）
- ・岩本菜々子（松井小6年）
- ・沼田 雅（安松小6年）
- ・重田 心暖（小手指小6年）
- 《中学生の部》
- ・加賀谷美菜（北野中1年）
- ・井上 琴美（所沢中2年）
- ・山田 由美（南陵中2年）
- ・新海 慶（南陵中3年）
- ・鈴木 英花（南陵中3年）

【銀賞】

- 《小学生の部》
- ・本田 士朗（北秋津小3年）
- ・松永 凌雅（美原小3年）
- ・木村 詩音（柳瀬小3年）
- ・山崎結花クリスティーナ（東所沢小4年）
- ・菊地 快晴（東所沢小5年）
- ・大柿 茜（中央小6年）
- ・片倉みゆき（柳瀬小6年）
- 《中学生の部》
- ・佐藤 理翔（富岡中1年）
- ・中島 小梅（富岡中1年）
- ・加納 ハナ（中央中2年）
- ・金子 侑生（南陵中2年）
- ・服部 梨菜（南陵中2年）
- ・佐藤 亜美（南陵中3年）
- ・藤井 航平（南陵中3年）

紙芝居完成記念事業 (ひろいちきゅうのおはなし)

所沢市民会議・活動の基本目標1に「自然からしぜんに学ぶ事ができる環境作り活動の推進」とあります。青少年たちが自然と触れ合い、環境から学びを得られることは大切なことです。

所沢市は2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする、ゼロカーボンシティを宣言しました。この目標を達成するためには、今後の社

会を担っていく今の子どもたちの力が必要です。所沢市では、いずれ子どもたちが環境問題解決のために自ら考え、動くようになるために、環境クリーン部マチごとエコタウン推進課と所沢第二幼稚園が協力して幼児向け紙芝居「ひろいちきゅうのおはなし」を作成しました。



紙芝居（ひろいちきゅうのおはなし）

令和4年10月18日(火)、所沢市と秋草学園短期大学が協力し、所沢第二幼稚園の園児たちを招いて紙芝居完成事業を開催しました。そのほかに園児の保護者、市内児童館の職員、秋草学園短期大学の学生たち、北野学長も出席しました。

当日は、園児たちへ「ひろいちきゅうのおはなし」の読み聞かせのほか、学長から参加者へ『子どもに伝えてほし

「環境問題」をテーマに講演いただきました。子どもだけでなく我々大人たちも学ぶ事が大変多く、環境問題に対する意識が高まりました。

ところていんズ 交流フェスティバル

コロナ禍により、イベントを体験できなかった市内の中高生、大学生が、自主的に文化祭を行うという企画です。

令和5年3月12日(日)、所沢市立みどり児童館にて開催されます。ステージで発表をしたりフロアに模擬店を出して体験やクイズを実施するので、ご興味のある方はぜひ参加してみませんか。主催は子ども地域ネットワークです。

お問い合わせはこちらまで。
☒話し隊公式メールアドレス
hanashi tai2020teen@gmail.com



所沢郷土かるたは、平成22年に所沢市民会議が市制施行60周年を記念して作成しました。子どもたちの地域の理解向上、それから親子で所沢の魅力を再発見することを目的として、様々な事業を展開しています。

大型かるた大会

令和4年10月29日(土)、30日(日)、所沢市民フェスティバルが3年ぶりに開催され、大型かるた大会が復活しました。2日間とも晴天に恵まれ、多くの子どもたちが、一生懸命にかるた取りをし、盛り上がりを見せてくれました。



大型かるた大会 (所沢航空記念公園)

所沢郷土かるた大会 in 児童館

令和4年12月から令和5年3月の間に、市内11児童館で所沢郷土かるた大会を開催しています。所沢の魅力、歴史を楽しみながら学ぶ事ができます。来年度も実施の予定ですので、参加したくないお友達も、ぜひ体験してみてください。

所沢郷土かるた 写真コンテスト

昨年に続き、「親子で再発見! 所沢郷土かるた写真コンテスト」を実施しました。二度目となった今回も、かるた札にちなんだ素敵な写真をたくさんご応募いただきました。ご参加いただいた子どもたち、保護者の皆様、ありがとうございました。

全作品の中から、金賞1点、銀賞3点、銅賞5点を選出し、入賞した方へは賞状と賞品を贈呈しました。入賞した皆様、おめでとうございます!

所沢市ホームページから入賞者の結果をご覧ください



◀金賞の作品(奥富さん)



☆所沢郷土かるたは、市役所2階の青少年課にて販売・貸出しておりますので、ぜひお手にとってみてください。

かるた札紹介

広報紙わかたけでは、かるた札の連載をしております。今回は「そ」の札です。

「そ」 空高く 飛び立つファルマン

初飛行



明治44年4月、わが国最初の飛行場が開設され、日本の航空技術の進歩に大きく貢献したことから、所沢市は「航空発祥の地」と呼ばれています。飛行場の整備は明治43年10月に着工され、滑走路・格納庫・気象測定所などが造られ、また飛行機を運搬するため所沢駅から新道(飛行機新道)が通されました。所沢飛行場での初飛行は、明治44年4月5日に記録され、同日5時10分、徳川大尉のファルマン機が15メートルまで飛揚し、1分で着陸しました。

各種事業の報告

青少年健全育成キャンペーン

令和4年11月12日(土)、所沢市と共催で「青少年健全育成街頭啓発キャンペーン」を所沢駅周辺で実施しました。今回のテーマは「青少年は地域社会からはぐくむ」です。

当日は96名の関係者が、啓発物品を配布しました。このキャンペーンは、将来を担う青少年が非行に陥ることなく、犯罪に巻き込まれることのないよう、心身共に健やかに成長することを目的とし、実施しています。少しずつ秋の深まりを感じながらもさわやかに晴れた日でした。皆様ご協力ありがとうございました。



配布時の様子 (所沢駅西口)

三重大会 (第61回)

令和4年11月13日(日)、剣道の部は市民体育館、弓道と柔道の部は市民武道館にて開催されました。当日は計440名が参加し、白熱した試合を繰り広げました。個人戦、団体戦問わずどの競技でも集中した様子が見られ、緊張感が伝わってきました。



柔道大会 (所沢市民武道館)

少年少女

バスケットボール大会

令和4年12月17日(土)・18日(日)の2日間に渡り、市民体育館メインアリーナにて開催しました。気温が低いながらも熱い声援が響き渡り、コート上の選手だけでなく、ベンチに座るメンバーも一丸となって戦っている様子でした。

【成績】

- 男子の部
 - 優勝 所沢泉ドルフィンズA
 - 準優勝 柳瀬セブンピース
 - 3位 所沢南スパークンナクス
- 女子の部
 - 優勝 所沢ライオンズA
 - 準優勝 柳瀬セブンピース
 - 3位 所沢泉ドルフィンズ



男子決勝戦



女子決勝戦

ジュニア卓球大会

【時】令和5年3月25日(土)
市民体育館メインアリーナにて開催予定です。

信号機

令和4年の秋10月8日(土)、イタリアのDedda高校8名の生徒の所沢来訪歓迎会が、小手指公民館分館で行われました。歓迎会は所沢高校のスタッドを使ったクイズ、Dedda高校の母国の紹介、芸術総合高校の素晴らしい合唱と、生徒たちの手作り感あふれる和やかなものでした。その後、市長のあいさつや、日本の文化を学ぶ交流の一つとして盆踊りの体験もありました。ここで私たち所沢市連合婦人会民踊部10名がそろいのゆかたで参加、ホールに大きな二重の輪ができ、「所沢音頭」「トコロん音頭」を踊りました。皆すぐに覚え、笑い声、掛け声も聞こえ、アンコールに「トコロん音頭」を踊り大盛り上がりの中終了しました。

参加者全員が身振り手振りでDedda高校の生徒と交流できたこと、日本の思い出の一つになりましたら嬉しいです。(道又一枝)



編集後記

3月を迎えました。あたりまえに明日がきて、月が変わり季節がめぐる。尊く、有り難いことだと感じるようになりました。

昨春より、編集委員に加わりました三浦と申します。力不足を感じることもありませんが、若い世代の声や活動を中心に、お届けしたいと思っています。

振り返ると絶たれたことも多かったコロナ禍。出口も見え隠れしています。どのような状況においても、学ぶ姿勢を大事に、次のステップに進んでほしいですね。

若い人たちにエールを込めて、編集委員一同、充実した紙面作りを心がけていきます。どうぞ、よろしくお願いたします。(三浦光子)

編集委員

- ▽三上佳明
- ▽相澤行雄
- ▽道又一枝
- ▽三浦光子

●まんが作 島田孝行

●「わかたけ」がダウンロードできます。

